

平成24年度事務事業評価シート（23年度実施事業分）

事業番号	12 01 02	中期総合計画主要施策番号	5-07			担当課	部・課	企業局	
事業名	水道水の安定供給						内 線	3937	
							E-mail	kigyo@pref.nagano.lg.jp	
実施期間	S38	～	根拠法令等	水道法					
実施方法	県が直接実施(工事は請負契約)							国庫・県単	国庫補助事業・県単独事業
事業の概要等	目的(必要性)	快適で暮らしやすいまちづくりを実現するため、安定した水道水の供給を維持する。							
	対 象	県営水道が管理する水道施設(主要な管路を除く)							
	目指すべき姿	水道施設・設備の改良、更新を行うことにより、安定した水道水の供給を持続する。							
	事業内容	安定した水道水の供給を持続するため、以下の取り組みを行う。 ・配水池の新設 ・紫外線処理施設の導入 ・浄水池の増設 ・各種設備の更新							
事業コスト	区 分		単位	22年度	23年度	24年度(当初)	23年度事業費の主な内訳		
	最終予算額 (A)		千円	1,403,380	1,566,849	1,242,974	・工事費 : 1,222,069千円		
	決 算 額 (B)		千円	1,091,189	1,006,626		・負担金 : 144,404千円		
	B(H24はA)のうち一般財源		千円				(うち平成24年度への繰越 560,223千円)		
	概 算 人件費	従事する職員数	人	13.00	14.00	11.00	1箇所当たり平均工事期間6ヶ月		
		概算人件費 (C)	千円	108,121	115,612	90,838			
概算事業費 (B(H24はA) + C)		千円	1,199,310	1,122,238	1,333,812				
事業実績	成果指標・活動指標内容		単位	22年度	23年度	24年度(見込)	左記以外のH23年度実績		
	施設の大規模改良・更新		箇所	7	4	4	配水池水位計や流量計の取替工事を実施した。		
	<効率指標(単位当たりコスト等)>								
事業の成果	事業の目標(H23)			事業成果・評価					評価区分
	・末端給水事業では、四ツ屋受変電施設の更新のほか、四ツ屋浄水場紫外線処理装置工事の竣工を目指す。 ・用水供給事業では、柿沢・片丘ポンプ場受変電及び自家発電装置取替工事を行うほか、塩尻市とのアロケーションによる権現橋の耐震化工事を実施する。			・末端給水事業では、四ツ屋浄水場紫外線処理装置工事の年度内竣工とすることができた。 ・用水供給事業では、計画的な発注により、柿沢・片丘ポンプ場受変電及び自家発電装置の更新と権現橋の耐震補強を行うことができた。					b 期待どおり
事業の課題	区 分		判 定 ・ 説 明						
	事業ニーズの変化	増加	横ばい	減少	判定の説明	平成21年度に「県営水道事業経営ビジョン」を策定し、計画的かつ効率的に事業を進めている。 また、修繕工事を行い施設の延命化を図るとともに、真に必要な箇所から更新を行うことで効率性を高めている。			
	県の関与を見直す余地	余地なし	当面余地なし	余地あり					
事業改善(有効性・効率性)の余地	余地なし	当面余地なし	余地あり						
総合分析等	総合分析(今後の課題、取組方針等)	今後大幅な水需用と料金収入の増加が見込めない状況である。また、老朽化した施設の更新時期が集中している中で、施設の長寿命化を図るとともに、真に必要な箇所から更新を行うことで効率性を高めている。このため、今後の財政収支を見通した「県営水道事業経営ビジョン」に沿って、計画的かつ効率的な整備を図っていく。							
	特記事項								